

厚原中の

朝日地藏さん

平成二年九月五日号

八月十九日は厚原中区の朝日地藏さんのお祭りでした。区民を挙げて大切にされている朝日地藏さんについて、秋山勝雄さんに伺いました。

牛馬の冥福を祈る

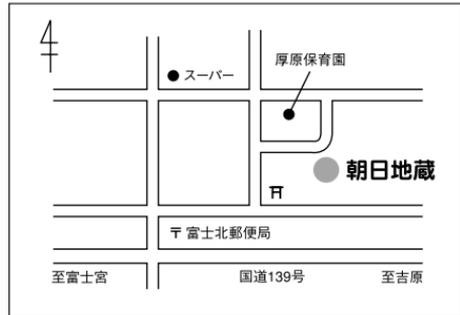
昔々のことです。現在の市立厚原保育園のあたりは一面の畑でした。トラクターや耕運機のない時代のことですので、多くの家では牛や馬を飼い、農業の大切な労力としていました。

牛や馬は大切にされていましたが、死んだとき、人々はその捨て場に困りました。

そんなとき、捨て場所となっていたのが、お地藏さんのある場所です。だから最初、お地藏さんは「捨て場の地藏さん」と呼ばれ、左右にある馬頭観音とともに、牛馬の冥福を祈る場所とされていました。

雨よ降れ

ある時、日照りが続き、農作物はもちろん飲み水にも困るようになりました。人々は、わらにもすがる気持ちで、うちわ太鼓をたたきながら一晩中お地藏さんにお祈





▲ 朝日地藏のほくら（平成14年1月撮影）

りしました。すると翌日、急に雲がわいたかと思うと雨が降り出しました。人々は大喜びで、お地藏さんにお礼を言いました。

朝日をいっげいこ

そして、いつしか「捨て場の地藏さんでは聞こえが悪い。お地藏さんは東を向き、朝日をいっばいに受けるので、朝日地藏と呼ぼう」と言うようになり、今に至っています。

いっいゝるなぐり利益りやく

秋山さんは「幼児の夜泣きやカンの虫を初め、いろんなご利益があります。先日も歩けなくなった人が、歩けるようになったという話を聞きました。お札の千羽鶴などがたくさん上げられています。毎年八月二十三日に近い日曜日には、盛大に祭っています」と語ってくれました。

語ってくれた方 秋山勝雄さん